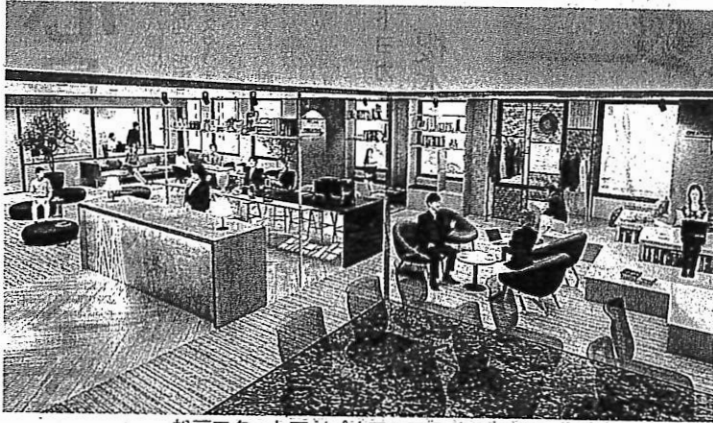


オフィス提供し創業支援

松戸市 4月開設、雇用創出へ



26日、プレセミナー

松戸市はベンチャー企業などを育成する創業支援施設「松戸スタートアップオフィス」を4月1日、市中心部の松戸ビル13階に開設する。利用者の経営相談に乗る専門家を配置。事業拡大を手助けし雇用創出や街のにぎわい創出につなげる。26日には施設を周知するためのプレセミナーを市勤労会館ホールで開く。

松戸スタートアップオフィスのイメージ図

市によると、東葛地区の30席、創業者や創業希望者が運営する施設としてはのほかに、職住近接で働きた初。個室・ブースと共有スペースと共有スペースを二つの空間からなくサテライトオフィス向けの。イキキュベーション（創）の利用も想定。入居者同士の交流イベントを開くことばれる中小企業診断士2人で新たな事業展開に結び付けたい考えだ。

市は、映画やアニメ、ゲームなどの制作・流通を担うコンテンツ産業の振興に力を入れており、個室・ブースはこれら業種などの利用を想定する。創業5年以内の起業家などが対象で個室は6室、ブースは5席。24時間入退室が可能。最長3年の利用期間に事業が拡大できるよう支援する。共有オフィスは「た」と題し講演する。定員

プレセミナーは午後6時から。ユークレナの出発が世界を救うことに決めた」と題し講演する。定員

先着150人。問い合わせは同プロジェクト室0880(222) 8448。